

令和2年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の評価について

1. まち・ひと・しごと創生寄附活用事業について

少子・高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正し、活力ある社会を維持していくため、平成26年（2014年）に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、本市では、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、本市人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（別添資料）を平成28年2月に策定しました。

この戦略に基づき、地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除できる制度が「地方創生応援税制（以下、企業版ふるさと納税といいます。）」であり、この制度を活用して取り組む事業が「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」です。

2. 事業の概要

①背景

平成30年度より、河内長野市を舞台にした長編映画「鬼ガール！！」の製作を通じた地方創生の取り組みが民間事業者等により行われており、当該作品が全国上映される見込みであったことから、市としてもこの機会を逃すことなく連携し、市の知名度向上や魅力の発信を行うことが求められておりました。

そのような中、企業より今回の取り組みを企業版ふるさと納税により支援したい旨の打診があったことから、当該寄附を財源として事業を実施しているものです（市費の支出はありません）。

令和元年度は出演者やカメラマン等、映画製作スタッフの知名度や技術を生かした市のPRツールを製作する事業を実施しました。

②実施内容

令和2年度は、映画の公開に合わせて、市として「河内長野市鬼でまちおこし条例」を制定し、職員も「鬼」をテーマにした小物を身につけて窓口対応を行うなどのシティプロモーションを実施するほか、寄附事業者の意向を踏まえ、令和元年度から引き続き、映画のプロモーションと一体的に、イベント等の場における市のPRやメディア展開の実施、およびそれに付随する物品製作等の事業を実施しました。

3. 評価の概要

今回の行財政評価委員会では、令和2年度に実施したまち・ひと・しごと創生寄附活用事業「映画を活用したシティプロモーション事業」について、市で実施した内部評価に対し、外部の視点で評価していただきます。

評価対象事業	評価資料（送付資料）
要素事業	
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	○総合シート
①映画を活用したシティプロモーション事業	○評価シート ○令和2年度 河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 業務内容概要 ○条例本文（河内長野市鬼でまちおこし条例） ○制作物例（新聞パノラマ広告）

4. 評価の方法

「総合シート」・「評価シート」及び添付資料により、事業の内容を確認いただき、「総合シート」に記載の事業の目標及び数値目標（KPI）を達成するために、評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点から、「評価シート」の下記部分について評価をお願いします。

【委員会評価】①～③を選択してください。

【評価等に対する意見】事業に関するご意見等を記入してください。

※評価シートは、3月22日（火）までにご提出ください。

【「評価シート」・委員会評価欄】

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

<参考：評価シートについて>

■総合シート

事業全体の目標や数値目標（KPI）等について記載しています。

事業名称等	事業の名称、目標及び概要を記載しています。
数値目標及び実績	事業全体の数値目標（KPI）と、その実績を記載しています。また、指標の状況及び今後の事業全体の考え方について記載しています。

■評価シート

事業を構成する要素事業ごとに、具体的な事業の内容や行政の内部評価、今後の課題等について記載しています。

実施事業	<p>評価年度に実施した具体的な取り組みの内容について記載しています。また、その成果について、できる限り具体的な数値で表せるよう、参考指標を示しています。</p>
担当者評価	<p>評価年度に実施した取り組みが、事業の目標及びKPIを達成するために効果があったかとの視点より事業担当部署が評価を行い、その評価内容についてコメントを記載しています。</p> <p>評価：事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③「効果があった」、「④効果がなかった」より選択</p>
改善	<p>今後の課題や取り組みの方向性について記載しています。</p>